

② コンベンションと野毛という町

■福田豊

1 野毛の人寄せ（野毛大道芸）はお祭りです

僕は野毛地区街づくり会の会員で、野毛で餃子屋を生業としています。

十三年前に「野毛大道芸」が始まり、面白いのでついずると、実行委員を現在も続けており、ただ古いというだけで、今年からプロデュースにされてしまいました。

野毛の氏神様は出雲系の「子の大神」で、毎夏盛大な祭りをしています。

東海道のはずれにあるので、出雲系が生き残ったのではないかと思っています。

昭和二十年代に、宮司がバクチで負けて夜逃げをし、今は伊勢山に間借り生活しているのも、いかにも野毛らしいと思います。

子の神の祭りは、「先祖がいて僕たちがいる」という意味で意義のある祭りです。

子の神は、一般には「子孫繁栄、商売繁盛の神」とされていますが、「博打と芸能の神」でもあると聞かされ、当地にストリップ劇場が二軒あることも、場外馬券場があることも、深く納得しました。

多分日本で唯一、場外馬券場前大通りに対面しているストリップ劇場には、土・日の午前中に入場する常連さんが大勢います。彼等

はきよの勝ち馬の予想を巡らせながら、ストリップを観賞し、三十分に一度ロビーに置いてある大型テレビのところへ大移動します。競馬の実況をみて、新聞に赤エンピツでメモつてから、また客席に戻る人、急いで馬券売場

に走る人、といるのです。何回か往ったり来たりしている人が、その度に入場料を払っているのかどうかは、定かではありませんが、例え買った馬券が外れてしまっても、日がな、ストリップと競馬で至福の時を過ごしたので、すから、神様は恨まれることもないのでしよう。

こういう野毛の町で、何故、大道芸を始めたのかと申しますと、僕等がどのようにして飯を食べるのか、食わしていただく相手様への感謝の祭りもあつていいのではないかと、思ったからです。

野毛の町は、僕の知る限り、戦後一貫して、飲食街でやってきました。しかもお客さんが身銭で飲み食いする処なのです。

そして、やたらと小さな店が多く、しかも迷路のように小さな路地が交叉しています。お客さんは、それぞれの店の主人と奥さんを相手にして、しゃべったり、笑ったり、泣いたり、怒ったりしながら、食べて飲んでいくのです。

多分、その店を選ぶ理由は、焼き鳥の串が大きいとか、寿司のネタがいいとかということより、自分の気持ちを素直に話し、それをまともに受け止めて、独断と偏見に満ちた返事が返ってきて、驚いたり、嘆いたり、自分の意見と同じで感激したりできるということではないかと思えます。

なにしろ、街づくりに関して、野毛は戦後連戦連敗で、ヒガミに関しては他の町の追従を許さないと、僕は確信しており、そこがお客さんが魅力を感じる処だと思っています。

そんなお客さんが、赤い灯、青い灯が町に灯る頃、毎日大挙して来てくれます。

そういうお客さんに接して、僕が思うのは、お父さん、お兄さん、お姉さんを家で待っているお母さん、坊や、お嬢ちゃん、それとおばあちゃんもかな。

野毛で道草をされて、家で待ちわびている人たちに、お父さんたちはこんな処で、夜な夜な飲んで、食べて、憂さを晴らし、解脱した顔で家に帰ってくるのだと、ご理解いただきたい、そのためにオカサンたちに町を知ってもらい、かつ町のあちこちで面白い芸を、投げ銭で楽しんでいただきたいとの感謝の念を込めて、野毛大道芸を始め、続けております。

福田 豊（ふくだ ゆたか）氏

中華料理店「萬里」主人。1941年、中国天津で生まれる。

残留せず両親、弟妹と共に引き上げ以来横浜に在住。成蹊大学卒業後、(株)電通PRセンターを経て（ここで騙しのテクニクと妻を体得）、家業の中華料理店を継ぎ現在に至る。料理は最良、心は不良。

- 1 野毛の人寄せ（野毛大道芸）はお祭りです
- 2 野毛大道芸とコンベンションの似ているところ
- 3 野毛とMMコンベンション・シティとの麗しき関係

2 野毛大道芸とコンベンションの似ているところ

野毛大道芸に毎年出てきて、二千人以上のお客さんを集める「伊藤多喜雄」という演歌歌手がいます。

昭和六十三年に紅白歌合戦に出場しながら、いまだに野毛にこだわって、大道で歌うことに執着しています。

彼とはいろいろな話をしますが、大道芸が面白いのは、劇場と全く違う空間で、風が吹いたり、雨が降ったり、車の警笛が鳴らされたり、その他いろいろな雑音が満ち満ちていて、その中で自分の歌がどれだけ力を持っているのかがわかること、それが魅力の一つのようです。

それからもう一つ。

事前にチケットを買って、コンサートホールに来るお客さんは、確信犯というか、常連客というのか、そういう人たちです。

しかし、大道芸は、もちろん常連客が多く聴きに來てくれますが、演者が一番興奮するのは、馬券を買いに来た人、買い物に来た人、つまり、自分に興味がない人が、自分の歌や芸で足を止め、聴き入ったり、見入ったりしてくれ、投げ銭を投げてくれること、そこがとて魅力だと感じているように、僕は受け止めています。

MM21地区にコンベンションで来る人たちも、「横浜に行ってみよう」という人ばかりではないと思います。コンベンションだから横浜に行くという人も多と思います。

その人たちが、アフターコンベンションで

周辺の町を訪れ、そのうちの何人かが、訪れた町に魅力を感じ、再び訪れたり、横浜の良さを地元で語ってくれたりするのはないでしょうか。

予期せぬ人がファンになる楽しみを持つ芸人の気持ちと、相通するものがあるように思えてなりません。

そして、大道芸で投げ銭をせしめた芸人は、その日のうちに投げ銭の何割かを、野毛の飲み屋に落としていくのです。

3 野毛とMMコンベンション・シティとの麗しき関係

野毛の街づくり会は十三年前に、横浜市、東急と「MM21地区と野毛地区の共存共栄」を合い言葉に始まり、MM21地区とそれぞれの街づくりを進めてきました。

僕たちは、MM21地区と野毛の町がひとつの町であり、お互いにその機能（ビジネス、イベント、コンベンションと娯楽）を分担して、二十一世紀を生き抜いていこうと考えています。

来年春には、MM21地区と野毛地区を結ぶ地下通路が完成する予定、また、平成十三年には、野毛の中心部にある中税務署跡地に、芸能センターを完成させるべく、市を中心に作業が鋭意進められています。

先ほど申し上げたように、野毛のお客さんは、夕方まで働いて、アフターファイブに野毛に来る方が大部分です。

一方、MM21地区では花火大会や、フランス映画祭等、たくさんの方の行事やコンベンションが年間を通じて行われ、人が集まってきます。

野毛の商人として、さらにMM21地区の催事やコンベンションを充実してもらおうことが大事であると期待しております。

一年間は五十二週です。そして今、サラリーマンには週休二日が普及し、年間百三十日弱が休日になっています。つまり、三日に一日は休んでいる勘定です。

MM21地区には、ランドマークタワー、三菱重工ビル、その他ビジネスビルが多数ありますが、その他にクイーンズスクエア、横浜美術館、パシフィコなど、祝祭性やコンベンションの性格を持った施設が多数あります。

僕は、お祭りの時とか、年に一回ないし数回の旅行の時には、いつも思わず、飲み食いやお土産に大枚を奮発してしまいます。

つまり、そのような祝祭的な場所では、高いものが売れるようです。MM21地区は、八百円のラーメンや一万円のステーキ等、祝祭価格の商売をしていただきたいのです。

今、MM21地区には、四万五千人の就業者が働いているといわれておりますが、東京の丸の内のように、月曜日から金曜日まで人が多数働いていて、土、日、祭日はゴーストタウンとなる街とは異なり、ビジネス、商業とコンベンションの施設が機能しているので、三百六十五日人が働いている場所だと思えます。今後そのような街づくりをしてほしい、特に祝祭性とコンベンション機能を充実させてもらいたいと思います。

そして、我が町野毛は、MM21地区に働く人たちに、できれば毎日飲みに来ていただき



■伊藤多喜雄 in 大道芸



■野毛大道芸の賑わい

たいと期待しています。野毛は働く人たちの日常をお引き受けする町なのです。

僕もお酒が好きで、毎日どこかで飲んでいますが、僕のような酔っぱらいにとっては、飲み物と食べ物の値段が安いことが、何よりも大事なことです。だって、僕にとって飲むことは、非日常（祝祭）的なものではなく、ほとんどエンゲル係数の世界なのです。

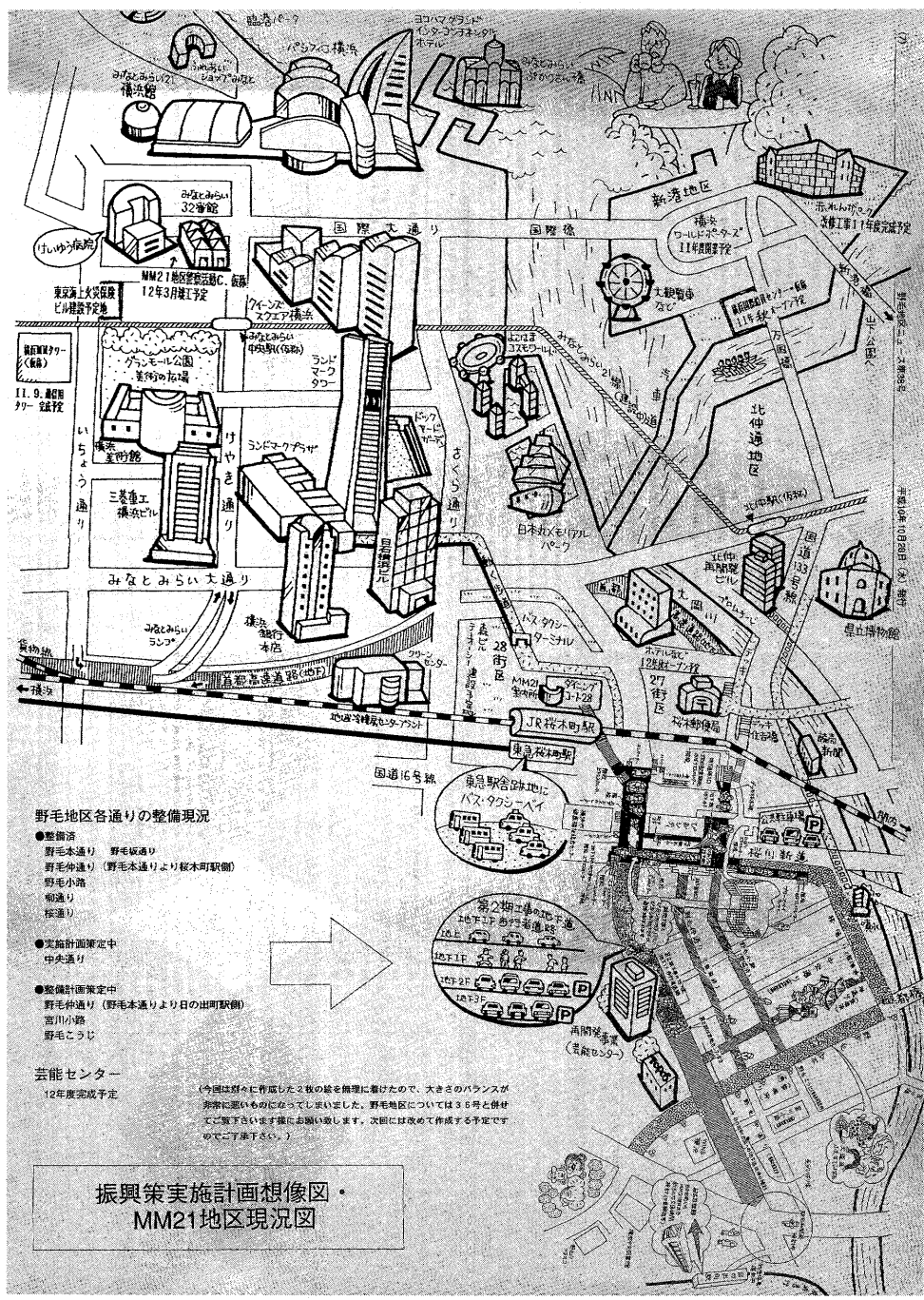
ですから、ビールの値段、チューハイの値段、ラーメン一杯の値段が、常に頭とハートにピンピンと響くのです。

野毛の商人は、野毛の中で、花火大会をしてほしい、フランス映画祭をしてほしい、その他のイベントをしてほしいなどという主張は、一切いたしません。

そのかわり、MM21地区で働いている人

たちに、仕事の後、野毛の安くて底力のある店で、家に帰る前に、ちょっと引っかかってほしいと、土下座の思いで期待しております。

我が町野毛は、後の祭りの町なのか、祭りの後の町というべきか、そんな感じを持っています。



- 野毛地区各通りの整備現況**
- 整備済
 - 野毛本通り
 - 野毛仲通り (野毛本通りより桜木町駅前)
 - 野毛小路
 - 新通り
 - 桜通り
 - 完成計画確定中
 - 中央通り
 - 整備計画策定中
 - 野毛仲通り (野毛本通りより日の出町駅前)
 - 宮川小路
 - 野毛こうじ
- 芸能センター
12年度完成予定

(今回は図々に作成した2枚の絵を無理に繋げたので、大きさのバランスが非常に悪いものになってしまいました。野毛地区については36号と併せてご覧下さいませお願い致します。次回には改めて作成する予定です。ご了承ください。)

振興策実施計画想像図・MM21地区現況図